

允ふり徳商店

商工部技監黒岩休太郎氏は廿

●石塚長官の出勤 徹夜引
務長官事務取扱は全快昨日より

●澤田局長の歸期 東上中
長は二、兩日中東京出發歸任の
●若宮書記官來京 滬信寄
氏は二十九日入京浦尾旅館に
●廣田囑托の移轉 廣田統
城臺元庵原技師官舎電話一一
公八私

●後田治策(間島派出所事務移
●石川啓輔(本縣事務官) 同上
●伊賀重雄(本縣事務官)

▲殘暑 尚残しど雖も朝夕の地よし長空清く月瑤瑤に一
▲蚊帳 の中に横臥して軒簾

近事片

▲緒方三郎 同縣水産組合理
▲大友敬次 岡山區農務所科
▲野居敬一 岡山區農務所
▲下田大吾 鐵道院技師 同
▲篠田延世 セメント會社技

石 日中の俗氣頓に減し餘情物
 骨 統監の痛快方に赴き
 ち 程也と御用紙は亦して
 二 菊地博士の翻譯まで
 中 據立てんと試む見透く様な
 家 御用紙が快方に赴けり
 今 發病以來の事也快方も茲に至
 月 始より今日に至る迄快方
 今 以て病床にあたる誰か其

▲李完 用が統監に面會御殿
 也く御用紙亦辨す様幾好きの
 ▲孫澤 讓ハ送別會に於ける
 謝辭ハ聊か乙なもの之が乃ち
 ▲頭は 妙趣と過ぐ容色美ハ
 美に尊敬を拂ふと孫澤讓の
 ▲片々 何事も云はす老嫗の
 りもより 多く知る云はは言
 ▲露國の 蒙古經營は着々

云ふてもスラブ人の實行力は、
 西比利亞に蒙古に移民せし
 するの確實すべし韓國には今
 現在の状態に於て韓國に入
 入るゝの時は逆も今世紀に見
 移民を外にして帝國の勢力
 民の伸びざる勢力は全く泡
 だは因たもの波を費し

午 小村 外交の秘密主義新開
 申 彼を憤らしたるに非ざる
 寅 彼や 後援してタイムスに
 卯 自國新聞には不相愛秘密
 辰 二万 年前の原人骨骸
 巳 發現する其骨骸に近似り
 午 猿猴は矢張り我々の祖
 未 鼻高し併し猿でも犬でも

長は一兩日中東京出發歸任の

●若宮審記官來京 遞信書
氏は二十九日入京捕尾旅館に

廣田 鷹托の移轉 廣田 統
城喜元庵原技師官舎電話一一
篠田治策 島原派出所昇格
石川啓 熊本縣事務官 二
和智隆三 同縣技師 同上
緒方二三 同縣技師 同上
大友敬文 島山區裁判所判
下野昌一 同島派出所事務官 同
田田大吾 鐵道院技師 同
篠田延世 (セメント) 會社技師

●殘暑 尚熱しと雖も朝夕の
地よし長空清く月玲瓏真に一
●蚊帳 の中に横臥して軒
●日中の 俗氣頓に減し時情物
●會福 統黨の病快方に起る
らるる程也御用紙は亦して
●特に 菊地博士の談話まで

所被出誠
 家
 立立
 御用紙が快方に起るべく様
 病以來の事也快方も茲に至
 始より今日に至る迄快方
 今以て病床にあらずる雖か
 李完用が誠望に面會御經
 御用紙亦辦す様好きもの
 蘇澤嬢の送別會に於ける
 謝辭は聊か乙女もの之が乃

美に尊敬を拂ふと孫澤深の心
も片々何事も云はず老嫗の
すより多し知る云ふは言
々露國の蒙古經營は着く
云ふてもスラブ人の實行力
西比利亞に蒙古に移民
するの總實すべし韓國には全
るの狀態にては韓國は

民の仲はざる勢力は全く消滅
▲移民を外にして帝國の影
入るゝ時は逆も今世紀に見
甘んずるものなり
すくは因だつた彼の憤らしむべき
牛乳と云ふは因だつた彼の憤らしむべき
▲小村外交の秘密主義新露國
竟敢を憤らしたるに非ざらん
▲彼や後悔してタイムズは
も自國新聞には不相變秘秘密

▲二万 年前の原人(原人)骨佛蘭
發現さる其骨狀猿に近似し
▲猿猴 は矢張り我々の祖
々鼻高し併し猿でも犬でも

長は二兩日中東京出發

●若宮審記官來京 氏は二十九日入京浦尾

として其
廣田囑托の移轉
成實元庵原技師官舎電報
七

南滿洲鐵道株式會社
支店長
公人

藤田治策、東國銀行派出身所
石川啓三、熊本縣事務官
和智善吉、同縣技師
緒方二三、同縣技師
大友敬次、岡山區役所
野呂眞一、島高派出身所
下田大音、鐵道院技師
篠田延世、セメント會

其以下
 らんか
 下野新
 股來會
 十二名
 廿六日
 旅行中
 九月三
 特に
 菊地博士の談

べしと
實業家
しと
總合所
は其後
付提出
に漢城
御幸は聊か乙なもの之
▲立用 紙が快方に起
▲登用 紙の事也快方に
▲始り 今日に至る
も今以て病床にあらるる
▲李完 用が被盤に面
也御用紙亦辨す枝救
▲孫澤 讓の控別會に

東上中	第一、 收容す 義務教 件とな せん等	美に尊敬を拂ふと孫澤 は、妙齡を過ぐ容 片々、何事も云はず 多く知る云は 露國の蒙古經營は 云ふてもスラブ人の實 西比、利亞に蒙古に するの確實すべし韓國 の狀態にては	現在
-----	---------------------------------	--	----

移居任に於て	任すに	は二十	せらる	博士と
入るゝの時は逆も今世	移民を外にして帝	民の仲はざる勢力は全	莫り	も自國新聞には不相變
		ソノ博士不相	小村は因たゝの彼を價	
			小村 外交の秘蔵主	
			竟彼を憤らしめたるに	
			彼や 錢悔してタイ	

日入京
たりと
業米人
モンズ

▲二万
年前の原人

發現さる其骨狀猿に近
▲猿猴
は矢張り我々
々鼻高し併し猿でも犬

相談の相談



問 相談の相談(何んでも相談に應じよ)

答 相談の相談(何んでも相談に應じよ)

問 相談の相談(何んでも相談に應じよ)

答 相談の相談(何んでも相談に應じよ)

問 相談の相談(何んでも相談に應じよ)

答 相談の相談(何んでも相談に應じよ)

不審な経死者

無心死の疑い、昨午、小泉金太郎(小泉金太郎)が、

心状一通の、昨午、小泉金太郎(小泉金太郎)が、

度支部へ、昨午、小泉金太郎(小泉金太郎)が、

病氣上りの、昨午、小泉金太郎(小泉金太郎)が、

情交、昨午、小泉金太郎(小泉金太郎)が、

記者、昨午、小泉金太郎(小泉金太郎)が、

暴徒破獄を企つ

七名斬殺せらる、昨午、小泉金太郎(小泉金太郎)が、

逃走、昨午、小泉金太郎(小泉金太郎)が、

捕主に説教、昨午、小泉金太郎(小泉金太郎)が、

桐原署長の厚意、昨午、小泉金太郎(小泉金太郎)が、

警官に殉ず、昨午、小泉金太郎(小泉金太郎)が、

前科者の只容、昨午、小泉金太郎(小泉金太郎)が、

學員大募集廣告

新發明三式測量法教授、昨午、小泉金太郎(小泉金太郎)が、

米國、昨午、小泉金太郎(小泉金太郎)が、

本校、昨午、小泉金太郎(小泉金太郎)が、

私立、昨午、小泉金太郎(小泉金太郎)が、

東京、昨午、小泉金太郎(小泉金太郎)が、

山崎、昨午、小泉金太郎(小泉金太郎)が、

購買公告

平壤水道工事、昨午、小泉金太郎(小泉金太郎)が、

一、松、昨午、小泉金太郎(小泉金太郎)が、

二、松、昨午、小泉金太郎(小泉金太郎)が、

三、松、昨午、小泉金太郎(小泉金太郎)が、

四、松、昨午、小泉金太郎(小泉金太郎)が、

五、松、昨午、小泉金太郎(小泉金太郎)が、

購買公告

平壤水道工事、昨午、小泉金太郎(小泉金太郎)が、

一、松、昨午、小泉金太郎(小泉金太郎)が、

二、松、昨午、小泉金太郎(小泉金太郎)が、

三、松、昨午、小泉金太郎(小泉金太郎)が、

四、松、昨午、小泉金太郎(小泉金太郎)が、

五、松、昨午、小泉金太郎(小泉金太郎)が、

購買公告

平壤水道工事、昨午、小泉金太郎(小泉金太郎)が、

一、松、昨午、小泉金太郎(小泉金太郎)が、

二、松、昨午、小泉金太郎(小泉金太郎)が、

三、松、昨午、小泉金太郎(小泉金太郎)が、

四、松、昨午、小泉金太郎(小泉金太郎)が、

五、松、昨午、小泉金太郎(小泉金太郎)が、

購買公告

平壤水道工事、昨午、小泉金太郎(小泉金太郎)が、

一、松、昨午、小泉金太郎(小泉金太郎)が、

二、松、昨午、小泉金太郎(小泉金太郎)が、

三、松、昨午、小泉金太郎(小泉金太郎)が、

四、松、昨午、小泉金太郎(小泉金太郎)が、

五、松、昨午、小泉金太郎(小泉金太郎)が、

EDP 品質精良且廉價にして御進物に最金口苺及葉巻 各種(百本入七十五錢以上)大安賣卸 直輸入商 日希商會

購買公告 平壤水道工事 一、松 二、松 三、松 四、松 五、松

MANUFACTORY OF EGYPTIAN CIGARETTES 日希商會

大和商會印刷部 松田慶之助 四ヶ所洋物店

